

溶剤1液型硝化綿ラッカー上塗り塗料

イサムラッカー

1 系統 溶剤1液型硝化綿ラッカー上塗り塗料

2 特徴 1) 乾燥が速く、塗装作業性に優れています。

2) 耐久性に優れているため、長期にわたり光沢を保持します。

3) 密着性に優れています。

4) コストメリットがあり、経済的に魅力的です。

3 用途 産業機械、各種金属製品等

4 適用下塗 ラッカープライマー ラッカーサーフェーサー

5 塗料性状

項目	内 容
容姿	1液型
荷姿	16kg, 3.785L
色相	各色
密度	1.02(ホワイト)
粘度	100KU(ホワイト)
不揮発分	31.0%(ホワイト)
引火点	-4.0℃(ホワイト)
消防法区分	第4類第1石油類
有機溶剤予防規則	第2種有機溶剤含有
劇物表示	一部原色

注)上記の数値は標準を示すものであり、ロット等により若干の変動があります。

6 原色一覧

ホワイト ルチールホワイト フラットホワイト 無鉛エロー 無鉛ライトエロー 無鉛メジアムエロー オーカー 無鉛インターオレンジ ダークブルー マザリンブルー フタロシャニングリーン インデアンレッド ブラック フラットブラック トルイジンレッド シャーシーブラック

7 塗装基準

/ 坐衣坐牛				
塗色		内 容		
下地処理	基材表面の油分、汚れ、埃等を除っ	去し、乾燥した清浄な面とする。		
塗装方法	エアスプレー エアレス 刷毛			
配合比	1液型			
希釈剤	アートラッカーシンナー			
希釈率(%)	80~100	60~80	20~40	
塗布量(g/m²)	130~150	150~170	110~130	
標準膜厚(μ m)	20~25	25~30	25~30	
ポットライフ	-			
シンをも見は中は	はしせぶと体しし マレナナ			

注)塗布量は実績値に基づき算出しています。

8 乾燥時間・塗装間隔

- 1-11111		
乾燥時間	指触乾燥	5分(23℃)
	指圧乾燥	30分(23℃)
	完全硬化	1時間(23℃)
	強制乾燥	1
塗装間隔	最小	5分以上(23℃)
空衣 间附	最大	_



溶剤1液型硝化綿ラッカー上塗り塗料

イサムラッカー

9 標準塗装仕様

工程	材 料	配合比	希釈率 (%)		布量 ╱㎡)	塗装方法	乾燥時間 (23℃)
下地処理シンナー、ワックスオフライト等の脱脂剤により、基材表面に付着している汚染物質、油分を除去する。							
素材、用途に適応した下塗りを選定する。 (推奨:ラッカープライマー,ラッカーサーフェーサー等)							
			20 ~ 100	130	~ 150	エアスプレー	(塗装間隔) 5分以上
上塗り	イサムラッカー	1液型	マートラッカー	150	~ 170	エアレス	要相談(完全硬化)
		アートラッカー シンナー	110	~ 130	刷毛	1時間	

10 荷姿

<u></u>	
製 品 名	荷 姿
イサムラッカー(原色)	16kg, 3.785L
イサムラッカー(調色品)	16kg, 3.785L
アートラッカーシンナー	16L, 3.785L
(3800, 3852, 3853, 3855)	※ 3.785Lは3800のみ

11 塗膜性能

坐脵性能				
試験項目	試験結果	試験条件		
塗膜の外観	異常なし	目視評価	JIS K5600-4-3	
鉛筆硬度	F	鉛筆硬度試験	JIS K5600-5-4	
鏡面光沢度	80以上	60度	JIS K5600-4-7	
耐屈曲性	異常なし	3mmφ180°折り曲げ	JIS K5600-5-1	
耐衝撃性	異常なし	(デュポン式) 300g×30cm	JIS K5600-5-3	
耐水性	異常なし	23℃×24時間	JIS K5600-6-2	
耐湿性	一部艶引け	50℃×96%RH×24時間	JIS K5600-7-2	
耐塩水噴霧性	異常なし	96時間	JIS K5600-7-1	
耐酸性	異常なし	5%-H₂SO₄×24時間スポット	JIS K5600-6-1	
耐アルカリ性	一部溶解	5%-NaOH×24時間スポット	JIS K5600-6-1	
耐揮発油性	異常なし	揮発油2号×2時間浸漬	JIS K5600-6-1	
4足,作前,4定7生	95%以上	サンシッ・ク・ウーゼ オーケ (000 味明)	光沢保持率	
		サンシャインウェザーメーター(200時間)	色差	
不粘着性	異常なし	300g重りにて布を押さえ著しい布目跡がないこと(40℃×18時間)		

注) 各塗膜性能試験は標準塗装仕様による。

素 材:ボンデ鋼板

塗 料:イサムラッカー ホワイト(膜厚20μm)

乾 燥:室温7日間養生

12 使用上の注意

- 1) 使用時にはよく攪拌し、均一な塗料状態にしてからご使用ください。
- 2) シンナーは専用シンナー以外のものを使用しないでください。
- 3) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油分、水分)は塗装前に完全に除去してください。
- 4)標準塗布量の範囲で、タレ、塗り残し、スケのないように均一に塗装してください。
- 5) 気温5℃以下、湿度85%以上、表面結露の見られる場合には塗装を避けてください。
- 6) 火気のない局所排気を設けた場所でご使用ください。
- 7) 塗装中、養生中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 8) 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、有機ガス用防毒マスク・保護めがね・保護手袋等を着用してください。
- 9) 廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づく産業廃棄物として処理するか、または産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 10) その他塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート)を参照してください。